

ANNUAL REPORT 2021

第58期 中間株主通信

2021.4.1~2021.9.30

 **青山商事株式会社**

[証券コード：8219]





2022年3月期上期総括

株主の皆様におかれましては、日頃より青山商事グループに対し、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、増収とはなりましたが、緊急事態宣言の長期化等、期初想定を超えるコロナ影響で、ビジネスウエア事業、総合リペアサービス事業及びフランチャイジー事業等において、休業や時間短縮営業店舗が一部発生するなど、上期の売上計画は未達となりました。しかしながら、ビジネスウエア事業の売上総利益率改善及び同事業の構造改革等を計画通り進めると共に、更なるコスト削減にも取り組み、赤字大幅縮小となりました。

また、当社を取り巻く市場環境は依然として不透明な状況が続いていることなどを総合的に勘案し、誠に遺憾ながら、第2四半期末配当を無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

当社グループは、2024年3月期を最終年度とした3ヶ年の中期経営計画「Aoyama Reborn 2023」において、1.ビジネスウエア事業の変革と挑戦 2.グループ経営の推進 3.サステナブルへの取組 を経営ビジョンに掲げ、各組織がお客様に向き合い、自立し、協働する「スクラム経営」を推進し、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

青山 理

売上高

(単位:百万円)



営業利益又は営業損失(△)

(単位:百万円)



経常利益又は経常損失(△)

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)

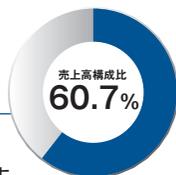
(単位:百万円)



セグメント

ビジネスウェア事業

青山商事(株)/ブルーリバーズ(株)/(株)エム・ディー・エス/
(株)栄商/服良(株)/青山洋服商業(上海)有限公司



「洋服の青山」を中心に紳士服専門店業界No.1の
販売実績を誇る当社グループの中核事業であります。

当事業につきましては、一部店舗において臨時休業や時間短縮営業を実施いたしましたが、1回目の緊急事態宣言が発出された前年同期と比べ影響が限定的であったことや、不採算店舗の閉店及び希望退職の実施を柱とする構造改革に加え、経費の効率的な使用に努めたことなどから、売上高は408億29百万円、セグメント損失(営業損失)は73億74百万円となりました(前年同期は売上高367億45百万円、セグメント損失144億13百万円)。既存店売上高は前年同期比119.0%、主力アイテムであるスーツの販売着数は、前年同期比116.7%の377千着、平均販売単価は前年同期比105.5%の26,517円となりました。なお、既存店売上高前年同期比につきましては、収益認識に関する会計基準等を適用する前の方法にて算出しております。

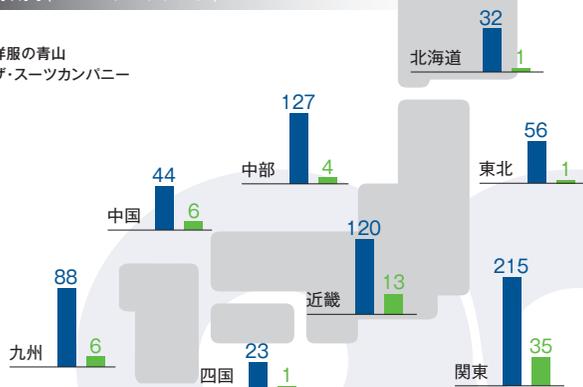
(単位:百万円)

■青山商事(株) ビジネスウェア事業 商品別売上高		前年同期	2022年3月期第2四半期	
		金額	金額	比較増減
重 衣 料	スーツ・スリープス	8,148	10,053	1,904
	ジャケット	990	1,284	293
	スラックス	2,507	2,637	130
	コート	75	96	20
	フォーマル	4,848	5,661	812
軽 衣 料	ベスト	97	189	92
	シャツ・洋品類	6,819	7,649	829
	カジュアル類	938	1,028	90
	その他商品	3,276	3,124	△151
	レディス類	6,103	7,082	979
	ポイント還元額	814	—	△814
	補正加工賃	1,189	1,232	43
	合計	35,810	40,041	4,231

(注)1.その他商品は、靴、肌着、雑貨等です。
2.レディス類には、レディススーツ、レディスフォーマル、レディス洋品類、パンプス等が含まれております。

営業店 (2021年9月末現在)

■ 洋服の青山
■ ザ・スーツカンパニー



(注)「ホワイト ザ・スーツカンパニー」、「ユニバーサルランゲージ」、「ユニバーサルランゲージメジャーズ」及びアウトレット業態については、「ザ・スーツカンパニー」に含めております。

カード事業

(株)青山キャピタル

「AOYAMAカード」等のクレジットカードの発行、管理及びカード会員の獲得を行い、ビジネスウェア事業の販促支援を行っています。

当事業につきましては、キャッシング収入が減少したことなどから、売上高は24億31百万円、セグメント利益(営業利益)は11億62百万円となりました(前年同期は売上高25億51百万円、セグメント利益12億52百万円)。資金につきましては、親会社であります青山商事(株)等からの借入と社債の発行により調達しております。なお、2021年8月末の有効会員数は416万人であります。

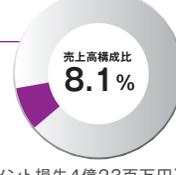


印刷・メディア事業

(株)アスコン

全国の流通小売業を中心顧客に、販促支援企業として様々なサービスを提供しております。

当事業につきましては、デバイス販売の増加及び主な取引先である流通小売業からの印刷・販促関係の受注が回復したことなどにより、売上高は64億26百万円、セグメント損失(営業損失)は4億4千万円となりました(前年同期は売上高44億44百万円、セグメント損失4億23百万円)。



雑貨販売事業

(株)青五

(株)大創産業と販売代理店契約を締結し、100円ショップ「ダイソー」を展開しております。

当事業につきましては、150円以上の商品の取扱増加により客単価が増加する一方、新型コロナウイルス感染症の影響による客数の減少により、売上高は82億47百万円、セグメント利益(営業利益)は3億56百万円となりました(前年同期は売上高85億90百万円、セグメント利益5億11百万円)。

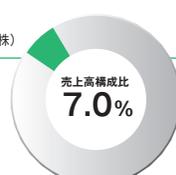


総合リペアサービス事業

ミニット・アジア・パンフィック(株)

アジア太平洋地域において「ミスターミニット」を展開し、靴修理、鍵複製をはじめとしたサービスを提供しております。

当事業につきましては、新型コロナウイルスの影響を受けているものの、需要回復が見られたことなどから、売上高は46億93百万円、セグメント損失(営業損失)は5億82百万円となりました(前年同期は売上高38億40百万円、セグメント損失5億95百万円)。

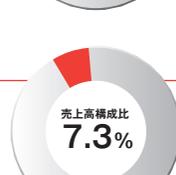


フランチャイズ事業

(株)glob

(株)物語コーポレーションが運営する「焼肉ぎんぐ」「ゆず庵」、(株)ゲオが運営する「セカンドストリート」「ジャンプストア」、(株)Fast Fitness Japanが運営する「エニタイムフィットネス」のFC店舗を展開しております。

当事業につきましては、フードサービス事業において時間短縮営業、酒類提供の自粛等の影響もあり、売上高は48億80百万円、セグメント損失(営業損失)は1億31百万円となりました(前年同期は売上高47億89百万円、セグメント損失84百万円)。



その他

(株)WTW/(株)カスタムライフ

(株)WTWは雑貨・インテリアを取り扱う「WTW」を展開しております。(株)カスタムライフはWebメディア事業を展開しております。

その他の事業につきましては、売上高は8億12百万円、セグメント損失(営業損失)は1億21百万円となりました(前年同期は売上高11億65百万円、セグメント損失1億円)。



(注)1.本資料に記載の金額は単位未満を切り捨てております。
2.「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期に係る数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、2021年3月期以前と収益認識に関する会計処理が異なっております。

会社概要

社名	青山商事株式会社
設立	1964年5月6日
資本金	625億4百万円
従業員数 (2021年9月30日現在)	6,310名(3,068名)(連結) 3,406名(1,531名)(単体) (注)従業員数の〔 〕は臨時従業員であり外数で記載しております。
事業所	本社 広島県福山市王子町一丁目3番5号 東京オフィス 東京都台東区上野四丁目5番10号TSC TOWER3~7階 神辺商品センター/井原商品センター/田川商品センター/千葉センター/ ロジスティクスセンター横浜町田

株主優待割引券のご案内

毎年3月31日及び9月30日現在の当社の株主の皆様には「株主優待割引券(20%OFF)」をご送付申しあげております。

株主優待割引券の発行基準

毎年3月31日及び9月30日現在の株主名簿に記録された株主各位に対し、そのご所有株式数に応じ、次のとおり株主優待割引券を発行いたします。



所有株式数

100株以上1,000株未満……………3枚
1,000株以上3,000株未満…………4枚
3,000株以上……………5枚

有効期限

対象株主の確定日	郵送時期	有効期限
3月末日現在の株主	同年7月上旬	翌年6月末日
9月末日現在の株主	同年12月上旬	翌年12月末日

取扱い店舗

「洋服の青山(中国・台湾含む)」「ザ・スーツカンパニー」「ホワイト ザ・スーツカンパニー」「ユニバーサルランゲージ」「ユニバーサル ランゲージ メジャーズ」(アウトレット店舗除く)にてご利用いただけます。

株主メモ

事業年度： 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会： 毎年6月開催
基準日： 定時株主総会 期末配当金 中間配当金
毎年3月31日 毎年3月31日 毎年9月30日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)

単元株式数： 100株
公告方法： 当社ホームページに掲載いたします。ただし、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 <https://www.aoyama-syouji.co.jp>

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人：
事務取扱場所

大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)：
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)： フリーダイヤル 0120-782-031

(インターネットホームページURL)： <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

▶ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

▶ 特別口座に関する手続きについて

2009年1月5日より、当社をはじめすべての上場会社の株券は、一斉に電子化されております。これに伴い、従来の株券は無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社を通じて証券保管振替機構(「ほふり」)で管理されております。また、株券電子化のお手続きがお済みでなかった株主様の権利は現在、三井住友信託銀行株式会社(特別口座の口座管理機関)の特別口座にて管理されており、お手持の株式を売却するには、証券会社に口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

詳しいお手続きに関しましては、上記の電話照会先にお問い合わせください。

上場証券取引所：東京証券取引所(市場第一部)